

## 石炭の日「クリーン・コール・デー」

### <記念日の由来>

エネルギー源としての石炭を広く認識してもらおうと、1992年に通商産業省（現・経済産業省）のエネルギー政策に沿って石炭関連団体で構成するクリーン・コール・デー実行委員会が制定した日。クリーンで9月、コールで5日が日付の由来。

（日本記念日協会ホームページより）

### 平成21年度「クリーン・コール・デー」基本方針

1. 名 称 石炭の日「クリーン・コール・デー」

2. 副 題 「もっときれいに、もっとやさしく、未来を支える石炭」

#### 3. 目 的

将来的に我が国におけるエネルギーの安定供給を保障する上で、石炭は埋蔵量の豊富さ、供給安定性ならびに経済性の面から、今後も益々重要性が増してくると考えられるが、他のエネルギーと比較して二酸化炭素排出量に関して環境負荷が大きい。

既に京都議定書の第一約束期間が始まり、地球温暖化問題に対する早急な取り組みが求められる中で、石炭利用に関する企業と国民の環境意識が益々高まってきている。

このような状況の下、石炭の高効率利用、CCT、CCS等の開発、導入、展開が求められており、そのためには社会的認知と合意形成が不可欠であり、更なる石炭広報の強化による社会的受容性の獲得が必要である。

さらに、長期的には、石油、天然ガスをはじめ、石炭を包括するエネルギー資源価格の上昇が予想され、今後一層の地球環境問題への取り組みと石炭資源の安定供給確保の同時解決が求められる環境の中で、一連の石炭PA活動を通じて一般の国民、ユーザー、地方自治体等の方々の興味・関心に沿った広報活動を展開し、石炭の重要性を認識し理解していただくことを目的とする。

#### 4. 記念日

9月5日（クリーン=9 コール=5）

本年度においてももクリーン・コール・デー（9月5日）を中心として前後に各種クリーン・コール・デー関連行事を実施する。

## 5. 体制

### (1)主催 クリーン・コール・デー実行委員会

電気事業連合会	(社)日本鉄鋼連盟
(社)セメント協会	日本製紙連合会
電源開発(株)	(財)石炭エネルギーセンター

### (2)後援 (予定)

経済産業省

在日大使館 米国、インド、インドネシア、豪州、カナダ、韓国、スロヴェニア、  
タイ、中国、フィリピン、ベトナム、ポーランド、マレーシア、  
南アフリカ、モンゴル、ロシア通商代表部、) 計 16 カ国

### (3)協賛 (予定)

(社)日本化学工業協会	(社)資源・素材学会
日本ソーダ工業会	日本化学繊維協会
(社)化学工学会	(社)火力原子力発電技術協会
(財)エンジニアリング振興協会	(社)日本エネルギー学会
エネルギー環境教育情報センター	(社)日本鉄鋼協会
釧路市	エネルギー環境教育学会

(計 12 団体)

### (4)協力 (予定)

科学技術館	太平洋炭鉱(炭鉱展示館)
夕張石炭博物館	宇部市石炭記念館
直方市石炭記念館	田川市石炭・歴史博物館
大牟田市石炭産業科学館	いわき市石炭・化石館

事務局：

(財)石炭エネルギーセンター アジア太平洋コールフローセンター

事務長 吉田 実

〒108-0073 東京都港区三田3-14-10 明治安田生命三田ビル9階

電話 03-6400-5193 F A X 03-6400-5207

